

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、前受金、前受会費、預り金及び未払法人税等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	24,681,923	24,764,223
振替預金(会費)	12,598,025	12,757,511
振替預金	2,266,500	2,774,400
普通預金	9,817,398	9,232,312
未収金	123,750	517,500
前払金	253,221	170,352
合 計	25,058,894	25,452,075
未払金	214,433	39,470
前受金	385,000	236,000
前受会費	4,331,700	3,856,800
預り金	55,379	61,168
未払法人税等	70,000	70,000
合 計	5,056,512	4,263,438
次期繰越収支差額	20,002,382	21,188,637

3. 予算額と決算額との差異が著しい科目及びその理由

- (1) 学術集会事業収入のうち講習会収入において、決算は予算より増加した。これは、「可視化フロンティア」講習会の開催回数が当初の見込みより2回増加し、また、各回の参加者も当初の見込みより増えたことによる。
- (2) 学術集会等事業費支出のうち講習会支出において、決算は予算より増加した。これは、開催予定回数が当初の見込みより2回増加したことによる。
- (3) 学術集会等事業費支出のうちビジュアライゼーションカンファレンス支出において、決算は予算より減少した。これは、会場費およびプログラム作成費が当初の見込みより少なかったことによる。